

第26回(令和3年度)防災まちづくり大賞受賞団体の決定

消防庁地域防災室

「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、今回で26回目を迎えました。地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施しています。

今回は全国各地から80事例の応募があり、学識経験者等で構成される選定会議において、他の地域の模範となる優れた20事例が選定されました。

受賞事例数

表彰区分	総務大臣賞	3
	消防庁長官賞	5
	日本防火・防災協会会長賞	12
(参考) 応募総数		80



防災まちづくり大賞シンボルマーク

災害による被害を軽減するためには、地域の防災力を強化すること、とりわけ地域の方々の「自分たちの地域は自分たちで守る」という強い意識と連帯感に支えられた

自主的な防災活動を推進していただくことが重要です。

平成25年12月に「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が成立し、住民、自主防災組織、消防団、地方公共団体、国等の多様な主体が、相互に連携協力して、地域防災力を高めていくことの重要性が示されました。

受賞団体の皆様には、今回の受賞を契機として、より一層日頃からの活動を充実・発展させ、引き続き、地域防災力の向上にご尽力いただくことを期待しています。

<総務大臣賞受賞事例の紹介>

今回、総務大臣賞を受賞された3事例の取組を紹介します。

- 団体名：おおつち大槌高校復興研究会定点観測班
- 事例名：大槌町内定点観測
～高校生としてカメラのリレーを通し大槌のまちづくりを考える～
- 所在地：岩手県大槌町

【団体概要】

大正8年に創立し、大槌町内にある唯一の高校で、全校生徒149名の小規模校です。被災地にある学校として、復興研究会は部活動と両立させながら4割の生徒が加入し活動を続けています。

【背景】

平成23年3月の東日本大震災での津波により、大槌高校は町内最大の避難所とな

り、避難者は一日当たり最大1,000名以上、平成23年8月7日までの150日間避難所となりました。被災した生徒も多くいましたが、4月上旬までの約1か月間は、学校職員と生徒が中心となり避難所運営に携わり、率先してボランティア活動に取り組みました。

平成25年春からは、生徒からの公募により団体名を『大槌高校復興研究会』と新たに、町の復興に向けてさらに活発に活動に取り組んでいます。

【取組の内容】

(1) 大槌町内の定点観測

大槌町内の約180地点を、年3回同じ場所、同じ角度から撮影し、復興の変化の記録として撮り続けています。復興が進む中で町内のさまざまな工事に携わる各建設会社等と協力し、多くの地点が工事区域内にある中でも撮影を続けてきました。

写真は、生徒が大槌高校のホームページに掲載し、地点の変化を誰でも確認することができます。(URL: <http://oht-h.jp/>)

(2) 定点観測写真展

大槌高校の文化祭では、「定点観測写真展」を毎年開催しています。

県外からも要請があり、神戸市・岡山市などで写真展を開催し、多くの方々から好評を得ています。

(3) オリジナル動画の作成

定点観測を通して気づいたこと、学んだことなどを生徒自身が10分ほどの動画を作成し、大槌町役場や大槌町文化交流センターで上演しています。この動画は、大槌高校ホームページからも視聴できます。

(4) 防災紙芝居の作成

「防災」、「伝承」の意識が芽生え、小学生など震災後に生まれた子どもたちに自分の命を守ってもらうため、自身の被災体験を

教訓として伝承したいという思いから3本の「防災紙芝居」を制作し大槌町内の小中学校などで読み聞かせの活動を行っています。

【成果】

先輩たちが撮影してきた9年間の写真から東日本大震災での津波と向き合い、生徒たちは復興には時間がかかることを実感しながら防災・減災のために何が必要なのかを活動するたびに自問し夢と希望を描きながら活動しています。



定点観測活動

■団体名：草津市国際交流協会

■事例名：草津市における外国人留学生等による機能別消防団員の取組み

～支えられる側から支える側へ～

■所在地：滋賀県草津市

【団体概要】

草津市の国際交流事業をはじめ、学校や地域への国際理解の出前講座や、多文化共生の事業などを行っています。「日本語ひろば」という日本語教室も運営しており、近年は市民と地域の外国人住民との共生に向けた事業に特に力を入れています。

【背景】

草津市の外国人住人数は増加していますが、地域住民との接触が少なく文化の違いから防災教育が不足しており、災害時のコ

コミュニケーションにも課題がありました。

また、草津市消防団にも外国人に対応できるスキルの不足等の課題がありました。

草津市周辺には、いくつかの大学が立地しており、外国籍住人の中でも留学生比率が30%と非常に高い地域で、日本文化への理解が深く、日本語ができる留学生が多く住んでいます。このような地域特性の中、特定の活動のみに参加する外国人による機能別消防団員制度を発足させました。

【取組の内容】

(1) 機能別団員の選出

草津市危機管理課と連携して草津市国際交流協会の日本語教室に通う留学生を中心に機能別消防団員を選出しています。

(2) 機能別団員への研修

基礎研修、普通救命講習、消火器を使った初期消火訓練、地域の消防団員との意見交換会などを実施しています。

(3) 機能別団員による啓発活動

地元の祭りに参加しての啓発活動、防災訓練デモンストレーション、留学生への防災学習など幅広い活動を行っています。

(4) 機能別団員による災害対応体制の確立

災害時には安全な避難誘導、情報伝達支援、避難所における支援（通訳、翻訳、生活相談）に対応できる体制を2015年に作り上げました。

【成果】

日本初の外国人消防団員として、防災知識と消防団員としての使命感と誇りが持てました。また、他の留学生、在住外国人たちの安心感や防災に対する心構えもできてきました。

地域、大学の国際交流イベントや日本語教室での啓発活動も行ってきたので、市民にも良い影響を与えられていると感じています。



機能別消防団員の基礎訓練

- 団体名：さいごうなかまち 西郷中町町内会連合会
- 事例名：「災害で命を失わない」災害にも強いまち・ひとづくり
～声かけて 笑顔でつなぐ わが町を～
- 所在地：おきしまちよう 島根県隠岐の島町

【団体概要】

平成22年から自主防災について調査を始め、平成24年に自治会の活動組織の一つとして防災会を立ち上げ、地域防災行動計画を策定しました。

平成24年以降は毎年2回以上の防災訓練を実施し、防災講習会も度々行っています。連合会の四つの活動組織が支え合いながら活動を行っており、地域の人と人のつながりを育むことを念頭に活動を続けています。

【背景】

西郷地区は、県内でも有数の商店街として賑わっていましたが、若者の地区外流出などで空き家も増え、住人の挨拶すら減っていくなど住人同士のつながりが薄れ孤独死も発生するような事態となっていました。これをきっかけに地域の縁を結び直そうと、高齢者宅の毎週1回の訪問活動に取り組みことを始めました。また、死者が発生する火災も多発していたことから、災害に備え自主防災事業が必要と考え、調査を

始めた数か月後に東日本大震災が発生し、その1か月後に防災会をつくることを自治会の総会で決定しました。

【取組の内容】

(1) 高齢者宅への訪問活動

「えんつくりの会」約80名が高齢者宅を毎週訪問する活動を行っています。

(2) 防災活動

防災会の活動を担う班員30数名と高齢者宅を毎週訪問する「えんつくりの会」約80名とが連携して取り組んでいます。当初から誰もが参加し易いように企画には気を使っており、ゲーム性や競争などの要素を取り入れ、楽しく防災知識や技術を習得できるように工夫しています。

(3) 勉強会の実施

各地から講師を招き勉強会を随時行っています。

(4) 避難訓練

津波を想定した避難訓練には約7割の世帯からの参加がありましたが、この時は、「えんつくりの会」の活動者が高齢者宅に呼び掛けをし、ともに避難する様子が多く見られ、日常活動がつながりと防災意識を高める結果になりました。

汽船会社や商工会、ホテルなど地区内事業所も毎回訓練に参加しており、高齢者の多い地区にとって心強い存在となっています。

防災会班員はコロナ禍にあっても夜間訓練なども含め基礎訓練を重ね、地域を守る意識と技術を高める活動を続けています。

(5) ハード面の整備

地区内家庭の火災報知器の設置を勧める事業や消火栓やホースの点検、消火機材の充実並びに避難路誘導サイン整備にも努めています。

【成果】

防災会を立ち上げた頃は一般会員から「班員の顔を知らない」、「自分の班が分からない」という声さえ出ることもありましたが、10年を超えて活動に取り組んだことで、笑顔や挨拶は確実に増え、住人がお互いに声を掛け合って訓練に参加するようになりました。また、班員の防災知識や技術は格段に向上し、生き生きと活動ができるようになっています。



初期消火訓練

「防災まちづくり大賞」ホームページにおいて第26回（令和3年度）防災まちづくり大賞受賞団体の活動内容が掲載された事例集を4月中旬頃に掲載予定です。

防まち大賞

検索



■問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課
地域防災室 高橋
TEL: 03-5253-7561